

『ウェルフェア』

車いす体験で校舎周りをお散歩しました。

自由選択科目『ウェルフェア』という科目では、福祉に関わる基礎的知識と技術を学びます。3年選択者30名が車いす体験を実習した様子です。

五月晴れの爽やかな風の中、学校敷地内を利用者役になり車いすを押してもらい、回りました。利用者の気持ちを感じ取ることや、車いす介助の技術を体験しました。

<以下は生徒のことばです>

気づき：けっこう段差が多くて危ないと思う所があった。外は校舎、教室内よりも障害物が多く、危険な場所があった。風が強いと、車いすが風で流されてしまうので、止まる時はしっかりブレーキを掛けておかないと乗っている人が危ないなと思った。

感想：身体の悪い人でも天気の良い日に友だちと車いすで散歩したりすると楽しいのだろうなと思いました。学校のがたがたしているところが予想以上に多くて驚きました。少しの段差でも車いすに乗っているとかなりびっくりしました。砂利道は早く通るとがたがたして危ないのでゆっくり通りたいと思った。

「車いすを操作しながら話しかけたりすると良い」とホームヘルパーの母に教えてもらったことを思い出してやる事ができた。



自由選択科目『ウェルフェア』という科目は、2年生でも選択できます。
同様に2年選択者10名が車いす体験を実習した様子です。
2年生もさまざまな気づきや学びを得ることができました。

感想：

テニスコートの前の道ががたがたして少し怖かった。小さな段差でも車いすに乗っていると障害物になるんだなぁと思った。声かけをしてくれるだけで安心感があった。

車いすを動かしていると、段差に気がつかないことがあったので、次やる時があれば周りを見ながらやりたい。砂利道は普通のスピードで進むと全然動かなくて少し早めのスピードで動かすとしっかり動いて進んだ。

車いすを押して歩くスピードも乗っている人の気持ちを考えて、いつもより遅く歩いてみたり、さかのぼりますよ、などの声かけが大事だと思いました。砂利道は前輪を上げないと進まないことが分かりました。自分が車いすを乗ってみて思ったことは、少しの衝撃も座っていると大きく感じました。自分が操作する時は衝撃がないようにしたい。

砂利道はタイヤが埋まってしまって、動きにくかった。

昇降口入るのも小さな段差が
いくつもあるのね…



玄関前の石畳…おしりに振動が…